審査結果

コウノトリ但馬空港 2020 秋 フォトコンテスト

テーマ

但馬空港の VOR/DME が写っている写真

（コウノトリ但馬空港に隣接する小山の上にある空港の位置を示す電波を発信する設備）

審査員　映像作家　藤原次郎氏
但馬空港ターミナル㈱関係者

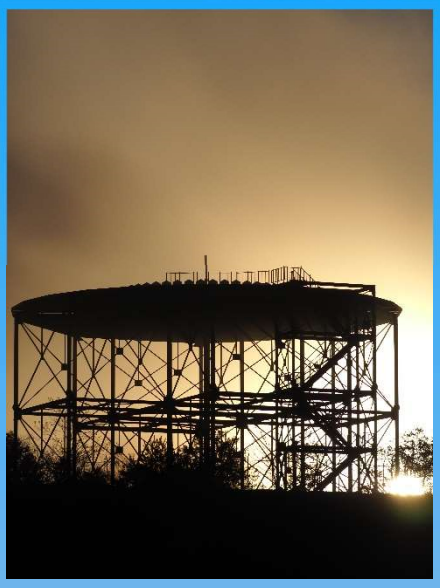
藤原次郎 プロフィール

1955年7月18日 兵庫県和田山町（現朝来市）生まれ。
兵庫県立生野高等学校、大阪芸術大学映像計画学科卒業

グランプリ

「幻想の VOR/DME」
中田　隆司（兵庫）

［選評］ 撮影技術はもとより、事前の撮影構成と撮影現場で偶然発生した流れる雲の光跡がまさしく「幻想」です。
大宇宙ともつながり、想いが無限にひろがる素晴らしい作品です。



準グランプリ

「ボルデメと日の出」
吉本　和也（広島）

［選評］ 撮構造物の美しさを日の出とシルエットで表現する、まさしく絵画です。しかも、霧でしょうか？ その逆光の霧の水墨画のような陰翳は、このボルデメの威厳すら感じます。あえて、中心で無く、右下に太陽を配置し、単色ながら深い印象を感じました。

社長賞

「 いざ蒼空へ！」
朝山　暁（大阪）

［選評］正に飛び立たとうとする ATR コウノトリ号。安全運航を祈るかのような VOR/DME　どこまでも青い但馬の空へ向かって　いざ出発！　そんな思いにさせられる素晴らしい作品だと思いました。

準グランプリ

「雲海を見下ろす VOR/DME 」
小川　稔（兵庫）

［選評］ これは、但馬空港の立地がなせる光景。 まさしく「天空の空港」
鶴号、VOR/DME、空港ビル、山々、雲海の配置も素晴らしい。特に鶴号を何処でとらえるか、撮影者の繊細さに魅了されました。
空港を見守る、たくましいVOR／DMEが誇らしく感じました。また、VOR／DMEの今後の姿、営みと希望も想像できると思います。